

第3章 基本的な考え方

第1節 成田におけるスポーツライフの将来像

本プランの目標年である平成32年（2020年）頃、成田では、次のようなスポーツライフを実現することが望ましいと考えます。

市民だれもが

- 幼児が、近隣の公園やまちの中で、安心して楽しく遊んでいます。
- 児童・生徒が、学校や地域のクラブで、スポーツを楽しんだり、心身を鍛えたり、トップレベルを目指して一生懸命トレーニングに励んでいます。
- 成人が、仕事や家事の合間、休日などの余暇時間を利用して、気軽にスポーツを行い、地域の住民やクラブのメンバーとの交流を楽しんでいます。
- 高齢者が、安全な方法で、体力に応じて、スポーツを楽しみながら健康づくりを行っています。
- 障がい者が、バリアフリー化された施設や場で、スポーツを楽しんでいます。
- 外国人が、地域の人達と一緒に、スポーツを楽しみ、さまざまな交流を深めています。



体育館で行われているレディーストレーニングDAY

市内どこでも

- 公園や歩道、広場など、身近な場所で、市民が日常生活の一部として、スポーツ活動を行っています。
- 学校で、体育や運動部活動はもちろんのこと、体育施設を利用して、地域住民がスポーツを行っています。
- 地域のスポーツクラブや民間スポーツクラブで、活発なスポーツ・レクリエーション活動を行っています。
- 市内各地区で、適正に管理・運営された各スポーツ施設を活用し、市民が身近な場所でスポーツを行っています。
- 印旛沼や利根川、根木名川、坂田ヶ池など、市内の豊かな自然のなかで、市内外の人々がいきいきとスポーツ活動を行っています。



にぎわう坂田ヶ池総合公園



みんなで楽しむパークゴルフ

第2節 基本理念

成田におけるスポーツライフの将来像の実現を目指し、次の基本理念に基づいて、本プランを推進します。

スポーツで いきいき健康 まちづくり

スポーツを楽しむ、健康や体力づくりを行う、スポーツを通じて交流を進める、自己実現を図るなど、スポーツを行う目的はさまざまです。成田市は、市民一人ひとりが自らの価値観に基づいて、主体的にスポーツを行い、スポーツを通じて健康づくりやコミュニティの育成を図り、住民相互の連帯感を高めることのできる「まち」を目指します。

そのためには、スポーツ施設や情報提供の充実、指導者の養成のほか、市民がスポーツに親しみやすい環境づくりを推進していく必要があります。また、各地区や団体、学校などを中心に、市民一人ひとりがスポーツを「する」「みる」「ささえる」のどの立場においても、自主的に参加できるよう努めていきます。

スポーツを通じて市民が楽しく、いきいきと健康な生活を送ることができるようなまちを目指していきます。

第3節 プランの目標

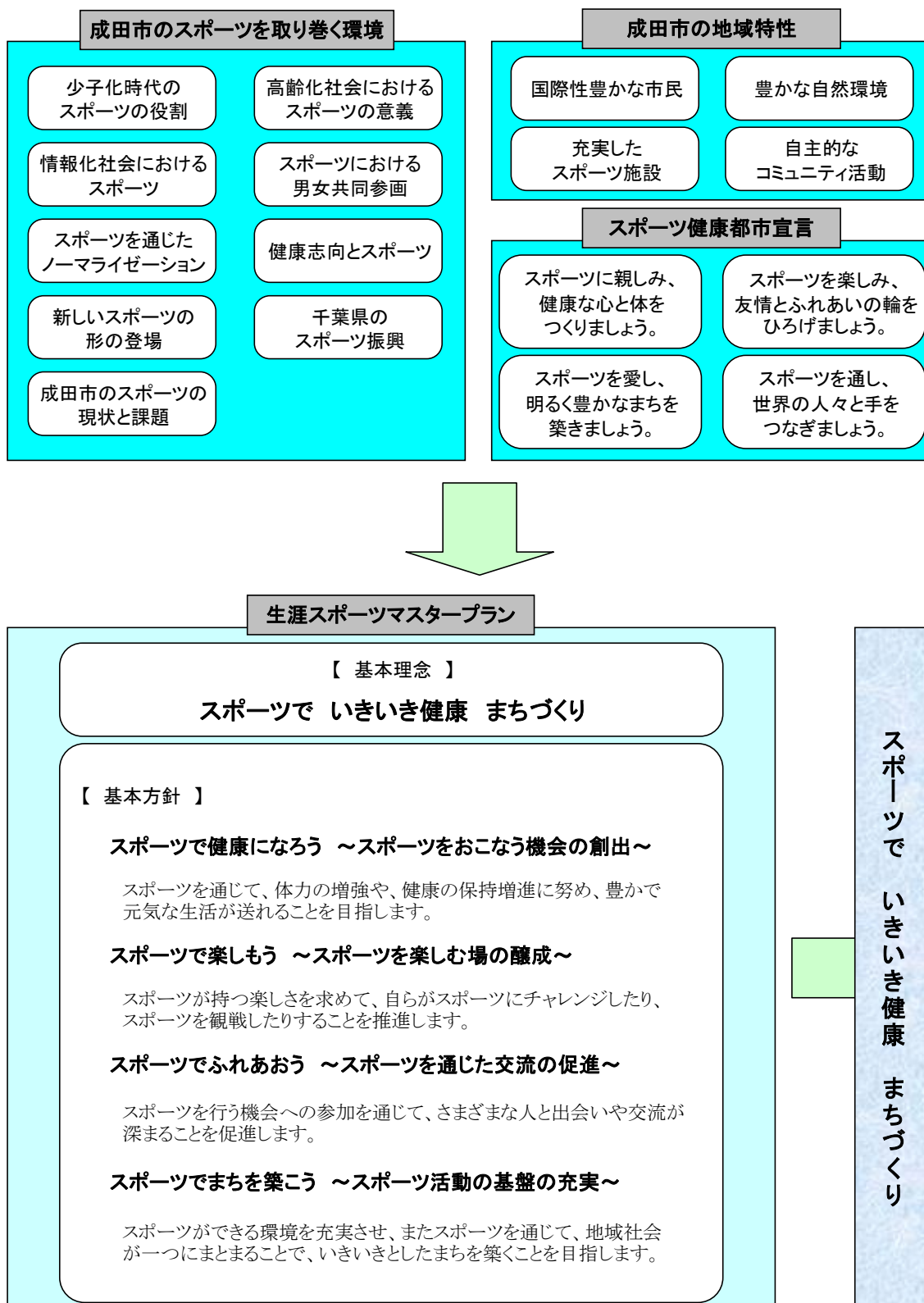
本プランの目標は、市民一人ひとりが主体的にスポーツを楽しみ、スポーツで健康になり、スポーツを通じて地域とふれあい、スポーツでまちづくりをしていけるようなスポーツライフの実現です。そこで基本理念を達成していくために、次の4つの目標を定め、それぞれの活動を推進していきます。

プランの目標

スポーツで健康になろう ～スポーツをおこなう 機会の創出～	スポーツを通じて体力の増強や、健康の保持増進に努め、豊かで元気な生活が送れることを目指します。
スポーツで楽しも ～スポーツを楽しむ 場の醸成 <small>じょうせい</small> ～	スポーツが持つ楽しさを求めて、自らがスポーツチャレンジしたり、スポーツを観戦したりすることを目指します。
スポーツでふれあおう ～スポーツを通じた 交流の促進～	スポーツを行う機会への参加を通じて、さまざまな人と出会いや交流が深まることを促進します。
スポーツでまちを築こう ～スポーツ活動の 基盤の充実～	スポーツができる環境を充実させ、またスポーツを通じて、地域社会が一つにまとまることで、いきいきとしたまちを築くことを目指します。

第4節 プランの全体構成

本プランの全体構成は、下図の通りです。



施策の体系

スポーツで健康になろう ～スポーツをおこなう機会の創出～

1. 個に応じたスポーツ環境の充実
 - (1) 学校体育施設の活用
 - (2) スポーツ機会の創出
2. 学校体育の充実
 - (1) 保健体育授業等の充実
 - (2) 児童生徒の健康診断・体力測定の実施
 - (3) 運動部活動等の充実
3. 健康づくりについて学ぶ環境の充実
 - (1) 健康教室・相談窓口の実施
 - (2) 市民の健康診断・体力測定の実施

スポーツで楽しもう ～スポーツを楽しむ場の醸成～

1. きっかけづくりと実践の場の確保
 - (1) 各種スポーツ教室の開催
 - (2) 各種スポーツ大会の開催
 - (3) スポーツ団体の活動支援
2. スポーツを観戦する機会の確保
 - (1) スポーツイベントの誘致・開催
 - (2) 平成26年度全国高等学校総合体育大会の競技種目誘致・開催
3. 情報提供システムの充実
 - (1) スポーツ情報システムの充実
4. 自然体験型スポーツの推進
 - (1) 自然とふれあえる場の提供
 - (2) サイクリング・ウォーキング・ジョギングコース等の整備

スポーツでふれあおう ～スポーツを通じた交流の促進～

1. スポーツを通じたコミュニティ活動の促進
 - (1) 総合型地域スポーツクラブの設立・育成
 - (2) スポーツ施設の適正管理
 - (3) コミュニケーション機会の提供
2. 国際スポーツ交流の促進
 - (1) 国際スポーツ交流

スポーツでまちを築こう ～スポーツ活動の基盤の充実～

1. スポーツ拠点施設の整備・充実
 - (1) 温水プールの整備
 - (2) (仮称)畑ヶ田多目的スポーツ広場の整備
 - (3) スポーツ・レクリエーション施設の整備
 - (4) スポーツ行政の充実・連携
2. 指導者の養成・確保
 - (1) スポーツ指導者の登録・育成
3. スポーツによる表彰制度の確保
 - (1) 優秀選手、指導者等の顕彰
 - (2) 競技力の向上

重点事業

1. スポーツイベントの誘致・開催
2. 総合型地域スポーツクラブの設立・育成
3. スポーツ指導者の育成・登録
4. ウォーキング・ジョギングコースの整備
5. 温水プールの整備
6. スポーツ機会の創出

数値目標

1. 週1回以上スポーツ実施率
現状 36.8% → 目標 50%
2. 児童生徒の運動能力証合格率
現状 27.0% → 目標 30%
3. スポーツイベント参加率
現状 32.6% → 目標 50%
4. 総合型地域スポーツクラブの数
現状 0 → 目標 1クラブ以上